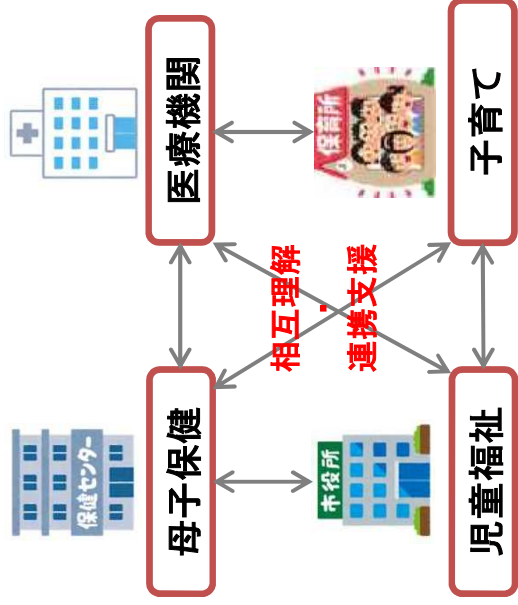


⑤ 親子を支える人材の育成



目指す姿

- 支援者は、支援を要する親子が自ら相談できる力をつけるための支援を、親子と同じ目線で行うことができる
- 支援者は、高い支援スキル(専門性)をもつだけでなく、他分野の役割を理解し、連携支援ができる

基礎研修

- ① 連携支援を行うための必要な基礎知識として、全ての分野の制度と支援内容を理解する
- ② 個人情報保護と活用に関する知識を持つ

個別研修

- 役割に応じたスキルの習得
- ・ 支援の評価の方法 (ケース会議の回し方、他)
 - ・ 訪問技術アップ

現場研修OJT

各分野の同じ立場の方の合同研修 ⇒ 相互理解を深め、連携支援

①各分野のリーダー向け (ケースを管理する最重要キーパーソン)

母子保健: 母子保健コーディネーター 児童福祉: 要保護児童対策地域協議会調整機関専門職員
 子育て: 養育支援員 医療機関: 行政機関との窓口となる方(助産師、看護師等)

②各分野のスタッフ向け

母子保健: 地区担当保健師、窓口担当保健師(看護師等) 児童福祉: 児童家庭相談担当職員(子ども家庭支援員等)
 子育て: 保育士等 医療機関: スタッフ(助産師、看護師等)

③ボランティア向け(地域で寄り添いができる支援者)

母子保健: 母子保健推進員 児童福祉・子育て: 各種訪問員、出合いの広場等のサポーター

日常業務のなかで支援内容を評価するシステムを機能させる

高

専門性

